空気調和・衛生工学会

「SHASE-S206-2009 給排水衛生設備規準・同解説」正誤表

2009. 10. 30　作成

頁・行	【誤】	【正】
p.7　12行目	(32)　雨水排水管を合流式下水道の排水横主管又は敷地排水管に接続する場合は，水封トラップを設ける。	(32)　雨水排水管を合流式下水道の敷地排水管に接続する場合は，水封トラップを設ける。
p.14　6行目	給水技管	給水枝管
p.41　16行目	1)　層間変位が起きる建物エキスパンションジョイント部	1)　建物エキスパンションジョイント部
p.50　解説表4.1	銅管－溶接接合の　○	銅管－溶接接合の　○を削除
	ポリエチレン管	ポリエチレン二層管
p.78　7.2.2(1)	(1)・・・上水配管及び配管材料を変えて識別・・・	(1)・・・上水配管とは配管材料を変えるなど識別・・・
p.109　3行目	“下水道施行令”・・・管内径の120倍を・・・	“下水道法施行令”・・・管内径又は内のり幅の120倍を・・
p.117　1行目((4)　本文)	・・・・・ブラスタ・貴金属・・・・・	・・・・・プラスタ・貴金属・・・・・
p.136　表9・4	水泳プールオーバフロー排水　A○　B○ 周辺歩道の床排水　A　B	水泳プールオーバフロー排水　A○　B 周辺歩道の床排水　A　B○
p.146　解説表10.2	JIS　A　5708　プラスチック浴槽ふた　←廃止されている	JIS　A　5708　プラスチック浴槽ふたを削除
p.151　解説図10・7	縦軸のタイトル　流数	流量
p.151　下から4行目	・・・・・より流量調整する(解説図10・6参照)。	・・・・・より流量調整する(解説図10・6参照)。また、洗浄弁への給水圧力については，流動時の必要圧力を確保することが重要である。
p.152　(7)温水洗浄便座 解説(a)　1、4、5行目	温水洗浄弁座　3箇所	温水洗浄便座
p.158　10.2.12給水栓類 解説(a)　1行目、2行目	湯水混合後，止水させる構造を持つ水栓では，止水時に一方の圧力が高くなり，他方に逆流し，上水を汚染するおそれがある。	湯水混合後，一時止水させる構造を持つ水栓では，一時止水時に一方の圧力が高くなり，他方に逆流し，上水を汚染するおそれがある。
p.182　解説表12.4	大腸菌群数	大腸菌
p.202，203　解説表13・2	1.75Mpa　2箇所	1.75MPa
p.258　要-解説表3・1タイトル	器具排水平均流量qd	器具平均排水流量qd
p.263　8行目	場含	場合
p.276　下から13行目	{3＋(4×50＋12)×1.5}	{(3＋4×50＋12)×1.5}
p.275　8行目	・・・・・が求められる。	・・・・・が求められる。A-A2を主管とするので、A2から75Aとする。
p.276　26行目	・・・・・が求められる。	・・・・・が求められるが、規格9.3.8.3からの規定によりDv=40Aを採用する。
p.277　下から14行目	・・・・・が求められる。	・・・・・が求められる。A-A2を主管とするので、A2から100Aとする。
p.283　要-表4・2 管径[A] 250、こう配　1/125	22300	2230